

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

秋季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 _____

氏名 _____

(2 - 1)

《解答別紙》

《英和辞書使用可》 《電子辞書不可》

I 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典： Infurna, F. J., Jayawickreme, E., Woods-Jaeger, B., & Zalta, A. K. (2024). Understanding adaptive responses to adversity: Introduction to the special issue on rethinking resilience and posttraumatic growth. *American Psychologist*, 79, 989-998. <https://doi.org/10.1037/amp0001442> ※一部改変。

問1 ①に当てはまる英語を書きなさい。

問2 下線部②を日本語に訳しなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

注) 論文の著者名は訳さなくてよい。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 2)

《解答別紙》

《英和辞書使用可》 《電子辞書不可》

II 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 Andolfi, M. (2024). The bottom-up approach in multigenerational family therapy: The child as the family guide. *Journal of Marital and Family Therapy*, 50, 1026–1037. <https://doi.org/10.1111/jmft.12730> *一部改変。

- 問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。
問 2 ②に当てはまる英語を書きなさい。
問 3 下線部③は何を指しているか、日本語で答えなさい。
問 4 下線部④を日本語に訳しなさい。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

秋季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	専門

受験番号 _____

氏名 _____

(3 - 1)

《 解答別紙 》

問 I 以下の文章を読み、設問に解答しなさい。解答は解答用紙に記入しなさい。

A市では地域の相談機関において、子育てに困難感のある6～12歳の子どもを養育する保護者を対象として、親のQuality of Life (QOL)の向上と子どもの行動的・情緒的問題の改善を目的とした、12週間のペアレンティング・プログラムを実施した。プログラムは次の3要素で構成された。

- (1) 保護者向けの集団式のペアレント・トレーニング
- (2) 親子での週末アクティビティ
- (3) 心理職による保護者の個別相談

効果検証にあたり、待機リスト対照デザインを採用し、介入前 (Time 0) と介入後 (Time 1) に表1の心理尺度を測定した。得られた結果は表2の通りである。あなたは心理職として、この取り組みをより効果的にするため、効果の検証と今後の展開に向けた改善点の提案を任されている。

なお、以下の心理尺度は架空の評価尺度である。

表1 本研究で使用した心理尺度

心理尺度	対象	尺度の説明
WS-5 (WellSense-5)	保護者	主観的なQOLを測定する5項目の心理尺度。5件法で回答を求め、可能な得点範囲は、5-25点である。得点が高いほどQOLが良好であることを意味する。一般集団1,000人を対象とした標準化研究により、平均値が16.4点、標準偏差は4.3点であることが示されている。
CBQ-20 (Child Behavior Questionnaire- 20)	保護者	子どもの行動上の問題・情緒的問題を評価する20項目の心理尺度。3件法で回答を求め、可能な得点範囲は0-40点である。得点が高いほど行動的・情緒的問題が多いことを意味する。一般集団1,000人を対象とした標準化研究により、平均値が13.2点、標準偏差は5.1点であることが示されている。下位因子には、友人関係の問題、行為の問題、多動・衝動性、情緒の問題の4つがある。

表2 介入群・対照群における各時点での心理尺度の結果

群	n	WS-5		CBQ-20	
		Time 0	Time 1	Time 0	Time 1
介入群	60	12.0 ± 4.0	17.2 ± 4.5	16.0 ± 4.6	12.4 ± 4.8
対照群 (非介入・待機群)	58	12.3 ± 3.9	13.4 ± 4.1	15.8 ± 4.4	15.4 ± 4.7

※ Time 0 および Time 1 の値は、平均値 ± 標準偏差を示す。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	専門

受験番号 _____

氏名 _____

(3 - 2)

《解答別紙》

- 1) 表 2 の結果を分析するためには、どういった統計手法を用いるのが妥当であるか、具体的な統計手法を挙げた上で、その統計手法を選んだ根拠を説明しなさい。
- 2) 本研究計画の改善点を 2 つ以上挙げ、それぞれの具体的な理由を説明しなさい。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 3)

《解答別紙》

問II 次のそれぞれの用語について簡潔に説明しなさい。

- 1) メタ分析
- 2) クーイング
- 3) 普遍的無意識
- 4) 統合失調型パーソナリティ障害 (症)
- 5) 失行
- 6) トラウマインフォームドケア
- 7) 反動形成
- 8) ベンダーゲシュタルトテスト

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	小論文

受験番号 _____

氏名 _____

(1 - 1)

《解答別紙》

心理専門職（公認心理師・臨床心理士）には、高い専門性に基づいた実践を行うために継続的な研鑽に努めることが求められる。一方で、心理専門職もまた、一人の生活者としての側面を持つ。専門性の向上を図りながら、個人としての生活とのバランスをどのように取るかは、心理専門職にとって重要な課題の一つと考えられている。この課題を踏まえたうえで、あなた自身がどのように心理専門職として成長していきたいと考えているか、1,000字以内で述べなさい。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 _____

氏名 _____

(2 - 1)

英和辞書使用可・電子辞書不可 <<解答別紙>>

I 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 : Barnes-Horowitz, N. M., Metts, A., Rosenfield, D., Yarrington, J. S., Treanor, M., Echiverri-Cohen, A., Ritz, T., Meuret, A. E. & Craske, M. G. (2024). Changes in positive and negative affect in psychotherapy for depression and anxiety. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, 92, 249-259. ※一部改変

問1 ①に当てはまる英語を書きなさい。

問2 下線部②を日本語に訳しなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。ただし、著者名と発行年は訳さなくてよい。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	英語

受験番号 _____

氏名 _____

(2 - 2)

英和辞書使用可・電子辞書不可 <<解答別紙>>

II 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 Martin, L. N., Renshaw, K. D., Curby, T. W., & Feinberg, M. E. (2025). Dyadic relationship and coparenting Quality during the transition to parenthood for couples with childhood maltreatment history. *Family Process, 64*:e70078 ※一部改変

- 問1 下線部①を日本語に訳しなさい。
問2 下線部②を日本語に訳しなさい。()内の著者名と発行年は訳さなくてよい。
問3 下線部③を日本語に訳しなさい。
問4 下線部④は具体的に何を指しているか、5つ挙げて日本語で書きなさい。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 1)

《解答別紙》

問I 次の文章を読んで、1) から4) の設問に答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

A 大学大学院臨床心理学専攻修士課程1年生のBさんは、抑うつ症状やうつ病からの回復における個人の心理的变化に関心を抱いている。そこで、修士論文では、抑うつ状態にある成人を対象に、認知行動療法を援用した5回の小グループを実施することで、抑うつ感や自己肯定感に変化が生じるかどうか、量的・質的な指標を用いて検討したいと考えた。

使用した尺度は次の2つであった。①MG抑うつ質問票：20項目からなり、50点以上は抑うつ状態と判定される。②自己肯定感尺度 SEMG：20項目からなり、得点が高いほど自己肯定感が高いことを示す。

- 1) 本研究を実施する際には、どのような倫理的配慮が必要となるか。2つ挙げて簡潔に説明しなさい。
- 2) Bさんはグループの実施前後で半構造化面接を実施し、参加者の心理的变化を尋ねることとした。あなたならどのような質問をするか、質問項目を1つ挙げ、尋ねる理由を説明しなさい。
- 3) グループの実施前後に行われた半構造化面接で得られたデータを分析する方法と、その方法を選択する理由を説明しなさい。
- 4) 5回の小グループを実施したところ、以下の表の結果が得られた。この結果からどのようなことが分かるか、説明しなさい。

	グループ実施前 (n=10)	グループ実施後 (n=10)	t 値
抑うつ得点	55.10 (SD=4.40)	45.90 (SD=3.81)	8.41**
自己肯定感得点	40.20 (SD=4.89)	56.90 (SD=3.65)	28.87**

**p<.01

注) 以上の研究内容やデータはすべて本問題用に作成した架空のものである。

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	専門

受験番号 _____

氏名 _____

(2 - 2)

《解答別紙》

問Ⅱ 次のそれぞれの用語について簡潔に説明しなさい。

- 1) 探索的因子分析
- 2) ホスピタリズム
- 3) メンタライゼーション
- 4) 反応性愛着障害
- 5) 心神耗弱
- 6) 前頭側頭型認知症
- 7) ケース・フォーミュレーション
- 8) 社会構成主義

2026年度 大学院入学試験 問題用紙

春季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方式	科目
		A 一般	小論文

受験番号 _____

氏名 _____

(1 - 1)

〈解答別紙〉

問. ある朝、あなたが目覚めたら世の中があなたの望む世界になっているとしたら、それはどのような世界でしょうか。どのような世界になっているか、また、なぜそのような世界を望むのかについて、臨床心理学的な観点からあなたの考えを1,000字以内で述べなさい。